

令和6年度
第66回全国社会教育研究大会茨城大会
第55回関東甲信越静社会教育研究大会茨城大会
第10回関東近県生涯学習・社会教育実践研究交流会
【第一次案内】

1 大会スローガン

彰往考来 ～ 人をつくり 人をつなぎ 地域をつくる 未来の社会教育 ～

2 研究主題

誰一人として取り残さない社会を目指す社会教育のあり方

～子どもたちの健全な成長を支える～

3 開催趣旨

徳川光圀公は、明暦3年（1657）に史局を設けて大日本史編纂事業に着手し、水戸藩主就任後の寛文12年（1672）に、この史局を「彰考館」と名づけました。彰考とは晋代の杜預『左氏伝』の序にある「彰往考来」に拠ったものです。「過去を明らかにして未来を考える」という意味であり、これからの社会教育活動を実践していく上で必要なことと考え、テーマに設定いたしました。

従来より、子どもたちの体験活動不足と、それに伴う諸問題が指摘されておりますが、近年は、それに加えて不登校・引きこもりの増加、貧困・ヤングケアラーなど子どもたちの健全な成長を阻む問題が生じており、その解決が望まれております。

国の動向に目を向けると、令和5年4月には“こどもまんなか社会”を実現するために「こども家庭庁」が発足されるとともに、“子どもの権利を守る”ための法律である「こども基本法」が施行されました。私たちには、地域において子どもの健全な成長を支援するために、世代や立場を超えたつながりを生み出し、子どもを取り巻く問題の解決に地域ぐるみで取り組んでいけるような社会教育のあり方について検討し、実践していくことが求められています。

そのような中、光圀公所縁の地である茨城県水戸市に全国各地から社会教育関係者が集まり、子どもたちを取り巻く様々な問題を考察し、解決を目指した実践活動について協議を重ね、より充実した実践を目指していくことは意義のあることと思っております。

4 主 催 一般社団法人全国社会教育委員連合、関東甲信越静社会教育委員連絡協議会、茨城県社会教育委員連絡協議会、茨城県教育委員会、第66回全国社会教育研究大会茨城大会実行委員会

5 後 援 文部科学省、茨城県、水戸市、水戸市教育委員会、茨城新聞社
一般社団法人水戸観光コンベンション協会

6 期 日 令和6年10月23日（水）～25日（金）

7 会 場 第1日 茨城県水戸生涯学習センター
(水戸市三の丸1丁目5番38号 茨城県三の丸庁舎3階)
第2・3日 水戸市民会館 (水戸市泉町1丁目7番1号)

8 参加者 都道府県・政令指定都市・市町村社会教育委員及び社会教育関係職員
社会教育関係者、その他生涯学習・社会教育に関心のある方等 約 1,000 名

9 参加費 5,000 円 (参加資料代等)

10 日程

第1日 10/23 (水)	14:00 15:30 16:00 17:30												
					全国社会 教育委員 連合 理事会				都道府県・ 政令指定都市 社教連等事務局 担当者会議				
第2日 10/24 (木)	10:00 11:00 12:30 13:00 14:00 15:20 15:30 16:50 17:00 18:30												
			全国社会教 育委員連合 総会		受付		全体会						
			分科会 打合せ		ア ト ラ ク シ ョ ン	開 会 行 事	記 念 講 演		シ ン ポ ジ ウ ム	閉 会 行 事		情 報 交 換 会	
第3日 10/25 (金)	9:00 9:30		11:50										
	受付	分科会 (全5分科会)											

11 大会内容

10月24日(木) 全体会

12:30~13:00 歓迎アトラクション

水戸市立五軒小学校児童による「偕楽園記暗唱」等

13:00~14:00 開会行事

- 主催者あいさつ (全国社会教育委員連合会長)
- 来賓祝辞
- 歓迎のことば
- 来賓紹介
- 表彰

14:00~15:20 記念講演

テーマ「あなたの知らない名字の世界」～名字には隠れた日本文化がある～
名字研究家 高信 幸男 氏

15:30~16:50 シンポジウム

テーマ「子どもたちの成長を支えるために社会教育は何ができるか」

【コーディネーター】

文教大学人間科学部教授

金藤ふゆ子 氏

【シンポジスト】

茨城 NPO センター・コモンズ代表理事

横田 能洋 氏

大洗町教育委員会教育長

長谷川 馨 氏

たまり場ぽぽ代表

早川 愛 氏

16:50～17:00 閉会行事

- 主催者あいさつ
- 次期全国社会教育研究大会開催県あいさつ（岩手県）
- 関東甲信越静社会教育研究大会開催県あいさつ（神奈川県）

10月25日（金）分科会

9:00～9:30 受付

9:30～11:50 分科会

第1分科会	
テーマ	地域と学校の連携・協働
視点	地域と学校の連携・協働をとおして、 地域全体で子どもの成長を支える取組について
事例発表者	内容
【愛媛県】 いよ本プロジェクト 代表 岡田 有利子 氏	本で人をつなぎ地域に活力を生む冊子 「いよし百冊物語」を発行
【茨城県】 森と地域の調和を考える会 代表 龍崎 眞一 氏 常陸大宮市立美和小学校 教頭 徳増 香織 氏	地域資源(自然・文化・歴史的価値遺産)を生かした 地域活性化
第2分科会	
テーマ	家庭教育の充実支援
視点	学習機会や情報の提供、相談体制の整備等社会全体で 家庭教育を支援する体制づくりについて
事例発表者	内容
【鹿児島県】 喜入子育てコミュニティ KADAN 代表 亀井 愛子 氏	「子育て支援」のプラットフォーム ～子育てを軸に、楽しくつながる～
【茨城県】 鹿嶋市教育委員会社会教育課 副参事 岸根 健二 氏	鹿嶋市家庭教育支援チームの取組
第3分科会	
テーマ	若者の主体的活動の促進
視点	若者（中高校生、大学生等）の地域活動への参画 及び地域活動の担い手育成について
事例発表者	内容
【北海道】 厚真けん玉クラブ 代表 斉藤 烈 氏	人と人のつながりが生み出す場づくり
【茨城県】 水戸市教育委員会生涯学習課 社会教育主事 石井 浩司 氏 水戸市サブリーダーズ会 会長 金成 大智 氏 みと青年会 会長 関山 瑠眺 氏	前に踏み出す力 ～様々な変化に柔軟に対応できる人材を目指して～

第4分科会	
テーマ	社会的包摂の実現
視点	貧困、障がい者、外国人等困難な立場にある子どもたちを取り残さない取組について
事例発表者	内容
【宮崎県】 霧島おむすび自然学校 事務局長 壺岐 博彦 氏	障がいのある人の学びの支援における 生涯学習講座の実際 ～行政と民間団体の協働を通して～
【茨城県】 NGO 未来の子どもネットワーク 代表理事 笠井 広子 氏	困難を抱えて生きていく 子どもと真ん中支援の取組事例と 地域の中にある子どもの第三の居場所の役割
第5分科会	
テーマ	社会教育委員の役割
視点	社会教育委員会議による 「子どもたちの健全な育成」に関する 提言や取組事例について
事例発表者	内容
【東京都】 あきる野サマーチャレンジ 運営委員会 委員長 遠藤 隆一 氏	あきる野市社会教育委員の会議における 協議をとおして
【茨城県】 ひたちなか市 社会教育委員の会議 議長 儘田 茂樹 氏 副議長 関口 拓生 氏	活動テーマを創造し、 調査研究・協議に主体的に取り組む会議の進め方

12 今後のスケジュール

- 7月中旬 第二次案内送付（冊子体）、ホームページ上で公開
Web 申込受付開始
- 9月中旬 申込〆切

13 その他

全国大会に関する最新情報や申込方法等については、下記のホームページ上で公開します。

（茨城県生涯学習情報提供システム「茨城の生涯学習」）

https://www.gakusyu.pref.ibaraki.jp/lifelong-learning/koryukai_2024

